

す く す く 通 信 第2号

「とちぎ de まんぷくキャンペーン」にご当選された皆様に、6月1日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！【～田植え後75日目様子です～】



田植えをしてから2か月半ほど経過しました。前回のすくすく通信にて紹介した「中干し（なかぼし）」の状態からさらに生長し、無事に「出穂（しゅっすい）」を迎えました！

出穂とは、茎の部分から稲穂が出ることをいいます。皆さんがよくイメージする稲穂にだんだん見た目近づいてきましたね★



そしてそして！2枚目の写真をご覧ください。出穂した稲に、なんと小さな白いつぶつぶが？！

あまり知られていませんが、実は稲にも花が咲くのです！葉のさやの間から出た穂の先の方から花が開きはじめます。

稲は、自分のおしべとめしべで受粉する自家受粉の植物です。そのため開花とともに受粉が完了し、花はすぐに散ってしまいます。

受粉してから30日かけて、花があった場所に硬い実ができていきます。この実がお米です！

ちなみに花が咲いている期間は実はひと夏に1度、しかも2～3時間だけなのです！開花の瞬間に遭遇できたら、なんだかとても幸せな気持ちになれそうですね♪

